

令和5年度経営計画について ～サマリー版～

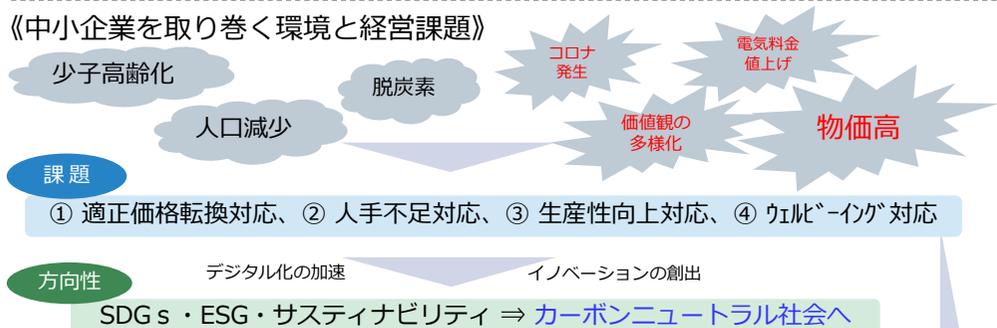
【現状認識と業務運営方針】

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油・原材料価格も高騰が続き、**物価高、電気料金の大幅な値上げ**、さらには、**個人の価値観の多様化**等、中小企業の経営環境はより一層厳しさを増している。付加価値創出、雇用維持のみならず、地域の社会インフラをも担う中小企業にとっては、こうした厳しい経営環境の下、ゼロゼロ融資（民間金融機関による無利子・無担保融資）の**無利子期間の終了、元金返済の開始**に備えるとともに、**事業承継の課題**にも対応する必要がある。

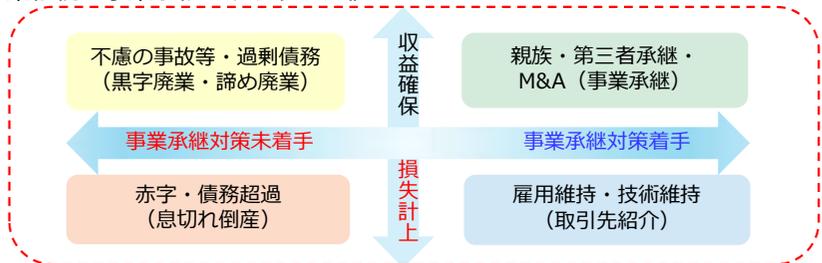
不可逆的な人口減少は、マーケットの縮小（購買力低下）、人手不足（生産力低下）が避けられない状況にあり、**持続可能な社会に資する経営と運営基盤確保の両立**を図るには、中小企業、信用保証協会ともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）による生産性向上、魅力ある職場作り（ウェルビーイング）など、環境に適應する不断の改革、改善が重要となる。

令和5年度は、**信用保証協会のハブ機能**を最大限活かし、地域の関係機関と連携しつつ、信用保証協会自らも意識改革、行動変容に努め、借換保証を中心とした「資金繰り支援」、**事業者のレジリエンス（逆境力）**を後押しする「経営支援」、事業者のマインドに寄り添う「伴走支援」等、**顧客起点の施策**に全力で取り組む方針である。

《中小企業を取り巻く環境と経営課題》



《事業継続・事業承継マトリックス》



《地域における信用保証協会のハブ機能》



	「中期事業計画」 (令和3年度～令和5年度)	令和5年度「経営計画」
1	中小企業のレジリエンス（逆境力）を後押しする経営支援	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業のマインド（心）と本業（体）を支える経営支援の強化 その道のプロ（専門家）派遣事業の有効活用と継続的な質の向上 組織体制の強化
2	地域の関係機関との連携深化	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関との連携深化 支援機関との連携強化
3	利用者本位の保証対応への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 保証事務手続の負担軽減 保証制度や事務手続に関する理解の促進 デジタル化加速による保証事務手続等の効率化 利用者サービスの一層の向上 広報活動の更なる推進強化
4	地域共創による地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 事業承継支援、事業再生支援 伴走型の創業支援・女性活躍支援 事故先に対する迅速かつ適切な管理と積極的な金融調整の実施
5	管理コストを考慮した効率性を重視した管理回収	<ul style="list-style-type: none"> 初動を徹底し、効率性を重視した回収方策の推進と進捗管理の徹底 生活再建に視点を置いた求償権保証人への適切な対応 管理事務停止・求償権整理の促進 事業存続への取り組み
6	健全経営の推進及び地域社会活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 健全経営の一層の推進 地域社会活性化への取り組み 多様な事象に応じた危機管理体制の強化
7	コンプライアンス態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス態勢の充実

【信用保証協会基本理念】 ※外部環境が大きく変化するとき「不易流行」の考え方が重要

※レジリエンス（resilience）：直訳すると弾力、復元力、回復力 ⇒ 困難から立ち直る力、逆境力

信用保証協会は、事業の維持・創造・発展に努める中小企業者に対して、公的機関として、その将来性と経営手腕を適正に評価することにより、企業の信用を創造し、「信用保証」を通じて、**金融の円滑化**に努めるとともに、相談、診断、情報提供といった多様なニーズに的確に対応することにより、中小企業の**経営基盤の強化**に寄与し、もって**中小企業の振興と地域経済の活力ある発展**に貢献する。